



なるほどなっくとくニュース

なっくとくの「なるほどなっくとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

やまぐちけん み せいかつ 山口県で見られるサギのなかまとその生活

山口県にはたくさんの種類の野鳥がありますが、その中で大型のものとなると、その多くはサギのなかまになります。下の写真は、山口県で見られるサギのなかまの一部です。

1年中、氷のあるところ(草地、氷田、湿地、湖沼、池、干潟など)でよく見られるサギのなかま



アオサギ

日本のサギで最も大きな種類です。



ダイサギ

シラスギの中では最も大きな種類です。夏はくちばしが黒く冬には黄色くなります。



コサギ

足の指が黄色くなっている小さなシラスギです。

めづらしいサギのなかま



クロサギ

海岸で見られます。



クロツラヘラサギ

くちばしがへらのようになっています。



アマサギ

梅雨時期に南の地域から渡ってきます。



ゴイサギ

目が赤く、早朝や夕方によく活動します。

しょくじ 食事



まるのみ

アオサギが、ウシガエルをまるのみにしていました。アオサギは、カエルやザリガニ、魚などを食べます。

撮影 5月10日 田布施町

こそだ 子育て

サギのなかまは、同じ場所に集まって巣を作り、ひなを育てます。この集団の巣(コロニー)は木の上や河川敷につくられます。



集団の巣(コロニー)



エサやり